

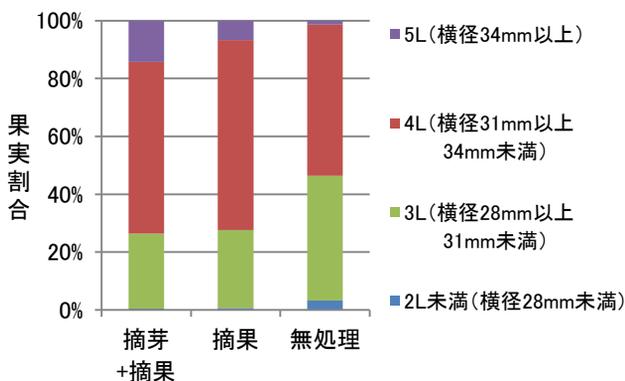
おうとう「ジュノハート」の安定生産技術とブランド化

りんご研究所

今年、全国デビューしたおうとう新品種「ジュノハート」は、ハート形で国内最大級の大きさが特徴の甘くて美味しい品種です。大玉で糖度18%以上の果実生産を目指し、栽培技術の向上に取り組みました。また、関係機関・団体と連携してブランド化の推進に取り組んでいます。

果実生産のポイント

◆ 4L以上の果実割合を増加させる方法

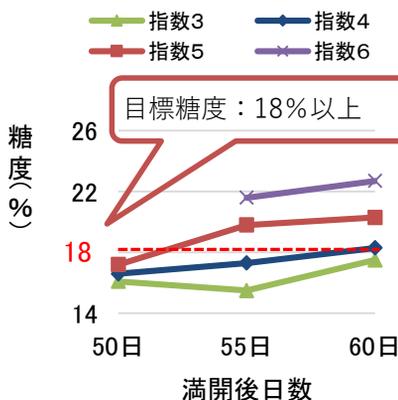


- 摘芽：発芽前に花芽を花束状短果枝当たり2～3芽となるよう芽を摘む
- 摘果：実止まり確認後に花束状短果枝当たり2果程度となるよう小果を摘む

◆ 果実の糖度が18%以上となる収穫期の目安

- 満開55日後頃（収穫始め）
⇒果皮の色が「指数5」以上
- 満開60日後以降（収穫盛期）
⇒果皮の色が「指数4」以上

※果皮の色は、カラーチャートで判別



ブランド化に向けた取り組み

◆ 「おうとう『ジュノハート』ブランド化推進協議会」（事務局：県農林水産部りんご果樹課）では、生産者団体、市場関係者、市町村や県関係機関等が一丸となってブランド化を推進するため、「ジュノハート」全体戦略を策定し、実践しています。

- 生産対策
 - 栽培マニュアルの作成・追加など
- 販売・PR対策
 - 上位等級品を「青森ハートビート」として販売
 - 専用サイトやSNSで情報発信など
 - 公式サイト <https://www.umai-aomori.jp/junoheart/>



「青森ハートビート」
サイズ4L以上の
上位等級品